



2020年6月16日
東日本旅客鉄道株式会社
東京支社

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みについて

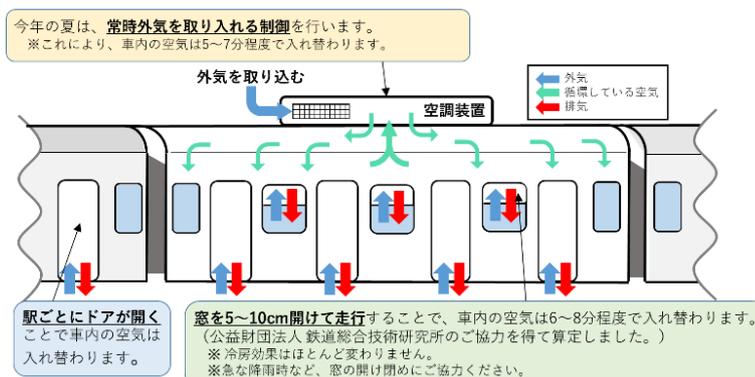
JR東日本東京支社では、お客さまに安心して鉄道をご利用いただくために、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組んでいます。

1 車内に関する取り組み

(1) 車内換気

通勤車両の車内は、駅ごとにドアが開くことで換気されていますが、車両の空調装置で外気を取り入れ空気を入れ替えを行うとともに、乗務員が出庫時の点検の際や駅での折り返し時等において天候を考慮しながら車内の窓を5cm～10cm開け、車内換気をさらに促進するよう取り組んでいます。

<通勤車両の換気のイメージ>



※イラストはイメージです。 ※イメージ図は、車両の構造を模式化したものです。



乗務員による窓開け



換気に合せた放送案内

(2) 車内消毒

定期的な車内清掃に合わせて、吊り手や手すりなどのお客さまが触れる部分を中心に消毒液を使用した消毒清掃を行っています。また、乗務員が駅での折り返し時や閑散時間帯の営業列車内において、吊り手や手すり、特急列車のトイレのドアノブ等、お客さまが触れる部分を中心に消毒液を使用した消毒作業を行っています。



定期的な車内清掃での消毒清掃



通勤車両の消毒作業



特急車両の消毒作業

2 駅に関する取り組み

(1) 駅設備の消毒清掃

階段の手すりや自動券売機等、お客さまが触れる部分を中心に消毒清掃を行っています。



お客さまが触れる部分を中心とした消毒清掃



(2) お客さまと駅社員相互間の飛沫拡散防止対策

みどりの窓口や改札窓口に、飛沫拡散防止用のシートやパーテーションを設置しています。



みどりの窓口や改札窓口への設置

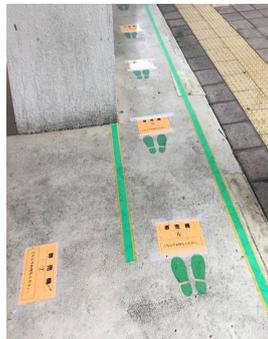


(3) ソーシャルディスタンスの確保

自動券売機前やみどりの窓口の床面にソーシャルディスタンス確保のための表示を行っています。



自動券売機前やみどりの窓口の床面表示



(4) 消毒液の設置

山手線内各駅の各改札口に、お客さまにご利用いただける消毒液を設置しています。



山手線内各駅の各改札口に設置の消毒液



(5) サイネージ等による啓発

デジタルサイネージやポスターで感染拡大防止対策をお伝えしています。



デジタルサイネージでの情報提供

(6) 駅独自の取り組み

お客さまのご利用状況等を考慮して、各駅独自の取り組みも広く行っています。



待合室出入口の開放



社員手作りメッセージ

3 お客さまへの情報提供

(1) お客さまへの呼びかけ

車内放送や駅構内放送、デジタルサイネージ等を活用し、時差出勤やテレワーク等へのご協力の呼びかけを行っています。また、お客さまへマスク着用の呼びかけを行っています。

(2) 混雑情報の提供

JR東日本アプリにて、山手線車内や一部駅における混雑情報を提供しています。